



期間 令和6年10月31日(木)～令和6年11月28日(木) [全5回]

実施場所 生涯学習総合センター(第1・5回) (37ページアクセス参照)
門司区(第2回) 下関市(第3回) 若松区(第4回)

申込・問合せ先 生涯学習総合センター
〒803-0811 小倉北区大門1-6-43
TEL:571-2735 FAX:571-0943

時間 10:00～12:00

応募締切

10月10日(木)

スマートフォンからも
お申込みできます▶



定員 20名

受講料 2,000円

受講生への
メッセージ

コーディネーター：関門海峡日本遺産協議会

関門海峡と門司港レトロや若松南海岸、下関の海峡沿いに立ち並んでいるレトロな建物たち。この風景は、海の道と陸の道の交差点という関門海峡の特別な役割と、幕末以来のこの国の歴史が作り上げました。そのストーリーが日本遺産 ※「関門「ノスタルジック」海峡～時の停車場、近代化の記憶」に認定されています。

今回の講座では、日本遺産について学んだ後、実際に門司港、下関、若松を歩きながら地域の歴史とストーリーに触れてみます。最終講座では、受講生がそれぞれ感じる「ノスタルジックとは?!」の共有を行います。

※日本遺産：地域の文化財と歴史、伝承、風習をひとつのストーリーにまとめたものを文化庁が認定したもの。

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	10/31 (木)	日本遺産「関門「ノスタルジック」海峡」のストーリーと構成文化財について ノスタルジックな雰囲気が漂う門司港、下関、若松。このまちをつなぐ近代化をめぐるストーリーと、現代まで残された魅力について解説します。	関門海峡日本遺産協議会
2	11/7 (木)	門司港まちあるき 門司区・門司港レトロ地区の近代建築物(日本遺産構成文化財)をめぐり、地域に残された歴史の痕跡とストーリーを探ります。 〈集合〉関門海峡ミュージアム(門司区西海岸)	関門海峡ミュージアム (門司港共創プロジェクト チーム共同事業体) 学芸員 大道 智子
3	11/14 (木)	下関まちあるき 下関市・唐戸地区の近代建築物(日本遺産構成文化財)をめぐり、地域に残された歴史の痕跡とストーリーを探ります。 〈集合〉旧下関英国領事館(下関市唐戸町)	下関観光 ガイドの会 長府地区を中心に、唐戸地区 や下関駅周辺地区、吉田地区 など下関市内の案内を行う観 光ボランティア団体
4	11/21 (木)	若松まちあるき 若松区・若松南海岸通りの近現代遺産(日本遺産構成文化財、土木遺産、若戸大橋)をめぐり、地域に残された歴史の痕跡とストーリーを探ります。 〈集合〉旧古河鉱業若松ビル(若松区本町)	若松 再発見の会 若松区役所主催のボランティ ア講座から 誕生した団体 若松区の観光案内やクルーズガ イド等、若松の魅力を発信する 活動をしている。
5	11/28 (木)	関門海峡〈私〉語り — 小さな歴史と大きな歴史の渦の中 日本遺産をつむいだストーリーを聞く・見る学びの後、最終講座では〈私〉にのっての関門海峡をテーマに各自の視点で振り返ります。ノスタルジックを発見した後は、人に語ってみましょう。	佐賀大学 芸術地域デザイン学部 地域デザインコース 准教授 花田 伸一